

令和7年度

グループホーム 東狐 金さん銀さん

自己評価・外部評価・運営推進会議評価表

特定非営利活動法人 生活支援センター アットホーム新川

令和7年5月21日実施 <グループホーム東狐金さん銀さん>
自己評価・外部評価について

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・理念に基づき入居者の生き生きとした暮らしを支援できるようにしている。 ・法人理念と事業所方針を施設に掲げている。 ・年度末に事業所方針を振り返り、改善点などを話し合い次年度につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・地区の回覧版から、地区の活動などの情報を得ている。 ・地区回覧版で広報誌を回覧し、日ごろの活動などの情報発信をしている。 ・14歳の挑戦を受入れ理解を高めている。	・地区の定例会には年度途中から参加していないが行事などで必要な時は参加 ・レクリエーションの案内を地域へしては		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営推進会議の意見を運営に反映している。 ・委員に身体拘束適正化委員を兼ねていただき適正化の取り組みにつなげている。 ・委員の方に「外部評価」をお願いしている。	・議事録を作成し家族等に送付している(配布) ・議事録は会議参加者へも配布しては(配布予定) ・議事録を玄関に掲示しては(掲示済み)		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営推進会議の委員をとして参加いただいている。 ・町役場からの問合せに答えたり、毎月広報誌を届けた際に質問し助言を得ている。	・毎月作成している「金さん銀さんだより」を配布する ・情報交換は随時行っている		

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・玄関の施錠は防犯のため夜間のみ実施。 ・帰宅願望に対しては無理な抑制は行わない。 ・身体拘束を含む虐待防止の適正化指針と改善計画を定め、職員会議でチェックする。 ・身体拘束適正化と虐待防止研修は全職員研修と事業所内研修で年2回以上実施。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・推進会議で毎回身体拘束0の報告を受けている。 ・運営会議の際に現状の報告あり、身体拘束の例①～⑫の研修の状況についても報告される。 ・職員は介護法を理解していて、ほぼできていると思われる。 ・細心の注意を払って、あるべき状態の周知と情報共有に努めている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・前問と同じ職員会議で都度チェック。 ・年に3回「虐待の芽チェック」を実施し、自身のケアを振り返っている。又、身体拘束適正化委員とご家族に開示。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・限られた環境、個人差のある病状の中、つい言ってしまうがちなスピーチロックにも配慮されている事がよくわかります。 ・職場の皆さんで状況等の共有をするしくみ実践されている。 ・セルフチェックリストは定期的に自己の介護方法について見つめなおす内容になっており、スキルアップにもつながると思う。 ・高齢者に対する虐待防止法を理解しているため、虐待の防止はほぼできていると思われる。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族からの相談に対応している。 ・権利擁護の外部研修に参加し、研修後内部で研修報告を実施。 ・必要に応じ法人本部から支援を実施。(法人に顧問弁護士がいる)			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・契約時に、重要事項説明書でケアに関する考えや取り組み、退去を含めた対応を説明。 ・報酬改定などの説明や利用経費について説明し、理解を得るよう努めている。			

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・面会時の家族から要望や思いを聞き、ケア記録で共有し、職員会議でも話し合いケアプランに反映している。 ・施設玄関に「ご意見箱」を設置している。		A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者・家族等の思いが反映されるようにシステム化されていて、ほぼできていると思われる。 ・ケア記録の実例や職員会議での話し合いの説明により状況を判断した。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員会議の意見をマネジャー会議や各種委員会を通して法人本部に提案。法人全体で意見交換し検討したものを事業運営に反映している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員の介護負担軽減と介護記録のデジタル化を図るため「眠りSCAN」を全居室に設置。 ・永年勤続表彰やキャリアパス制度導入及び就業規則の見直しなどで就業環境の改善を図り職員のモチベーションアップを図っている。		A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員が安心して仕事ができるよう職場環境の改善や業務効率化については、引き続き実施してほしい。 ・職員の実績・勤務状況を把握し、IT化を図り就業環境の改善に努めておられ、ほぼできていると思われる。 ・「眠りスキャン」という新しいシステムの導入など積極的な取組がなされている。 ・推進会議の際に、可能ならば、例として介護計画を提示していただければ、分かり易い。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・全職員を対象とした研修を年2回、管理者研修を年4回、その他ケアマネや看護師及び調理職員の法人独自の研修を実施している。 ・外部研修を推進し、就業意欲・介護知識向上を図っている。		A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日々、多忙な中、限られた人員のやりくりをしながら積極的に職員の能力向上に努めている。 ・推進会議の際に、可能ならば、例として介護計画を提示していただければ、分かり易い。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ⓐ. あまりできていない D. ほとんどできていない	・町主催の地域ケア会議に出席。 ・他法人の同業者との交流は、現在のところない。 ・法人内で事業所間交流を行っている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・事業所方針を元に職員も共同生活者として、入居者に寄り添い、活動(調理手伝い・掃除・洗濯物・炊等)を行っている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・地元ボランティアの受け入れや地域イベントに参加している。 ・希望される方は馴染みのお店(理容店等)の利用を再開している。 ・地域のかかりつけ医受診の際に、なじみの人と再開している。	・コロナ禍で以前のようにまでは出来ていない ・居室での面会が出来るようにしている		
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者の思いを、日々の行動や表情から真意を推し測り、それとなく確認するなど把握に努めている。気づきはケア記録へ入力。 ・認知症センター方式のシートを活用し、家族や関係者から情報を得ている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人や家族から日頃の関わりや面会時等に話を聞き、個別で具体的な計画を作成する。 ・アセスメントを含め、職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。	・月2回職員会議を行い、利用者の状況について話し合いを行う	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・介護計画・モニタリング等は話を聞き計画をたて、それを実行されていることは、ほぼできていると思われる。 ・詳細については把握出来ないが、意見交換や情報共有のしきみがあり、実践されている。 ・推進会議の際に、可能ならば、例として介護計画を提示していただければ、分かり易い。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個別ケアの中で気づいたことやエピソードは、全てケア記録に残している。 ・全ての職員が確認できるように記録をデジタル化し、職員間の情報共有を実施。 ・個別記録を元に介護計画書の見直し、評価を実施している。		A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個別の行いを記録に残し、それを情報共有して計画を見直し評価を実施していると言うことは、充分にできていると思われる。 ・ISOのPDCAが実践できている ・記録様式が標準化され、運用もしっかりなされているのが伺える。 ・推進会議の際に、可能ならば、例として介護計画を提示していただければ、分かり易い。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人の思いに添い、急な外出希望にも対応できるような支援している。 ・隣接のデイサービスで、顔見知りの職員や利用者との交流している。 ・デイサービスの送迎車を利用して外出支援をしている。	・施設に整備してある機器を多方面に活用している (Wi-Fi や LINE、クラウドサーバーでのケア記録など) ・利用者の睡眠状態などを計測する「眠りスキャン」を活用している		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・地域の各種団体からの情報を活かしている。(獅子舞・敬老会文化祭など) ・傾聴ボランティアを受け入れている。 ・レクリエーションに地域の演舞や楽器演奏などのボランティア等を招いている。	・運営推進会議に地域の各種団体の方々に参加いただく ・地域のボランティアさんとの交流を再開した ・地域の協力医に協力を頂いている		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・かかりつけ医は本人・家族の希望に応じて決めている。 ・受信時に情報提供書を渡している。 ・必要に応じ、職員も同伴する。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入院先の地域医療連携室に情報提供している。(退院時には情報提供を得ている) ・ケアマネが地域医療連携室を訪問し情報交換などで関係性を深めている。		A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入退時の医療機関との情報共有は大切に充分できていると思われる。 ・実態説明により判断した。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族へ状態の変化等を都度連絡している。 ・契約時に重度化した場合や終末期の対応を説明している。(重要事項説明書など) ・今後、「看取り介護」について家族や職員、主治医と話し合っていく。(看取りの見直しなど)		A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・重症化や終末期に対する方針等は対応をよく説明され、この項目はほぼできていると思われる。 ・実態説明により判断した。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・緊急時の対応や連絡手順について、定期的に話し合い、確認している。(マニュアルの見直しを行う) ・感染症・ノロウイルス等の対応マニュアルがある。(マニュアルの見直しを行う)			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・法定火災避難訓練や地震のシェイクアウト訓練を実施。 ・BCP(事業継続)訓練を実施。 ・重介護者の避難に関して、検討→実践→反省を行っている。 ・地域との災害対策協力体制を協議する。	施設側:災害時は入居者様の状態を考慮し、『水平避難』はしない。しかし、防災計画をもとに今後はいろいろな訓練を検討し実施する。 ・ハザードマップの確認 ・火災時の重介護者の搬送方法→毛布を使用	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・法定のみならず、自主的な訓練も積極的に実施されている。また、人をあずかる事業であり、切れ目のない事業継続を目的としたBCP訓練は大変良い。 ・災害対策は事業所内ではほぼできていると思われ、今後は地域との協力体制のスキルアップが望まれる。
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・各職員は、「チェックリスト」で自身のケア・声掛けの振り返りを行い、課題については、職員会議にて話し合っている。 ・性別・個性・生活環境等に留意して声掛けや介助をしている。 ・利用者の居室は、全室個室となっている。 ・職員研修で、接遇研修をしている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個人の尊厳とプライバシーの確保という点については、どこまでが正解かは線引きが難しい項目ですが、常に努力されている点で、ほぼできていると思われまます。 ・実態説明により判断した。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者の生活に対する希望を念頭に希望する暮らしを支えている。 ・食後やレクリエーション後の過ごし方は、本人の状態を見て臥床など柔軟に対応する。 ・外に行きたい方には、同伴で散歩をしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・オープンキッチンで、五感を刺激する環境としている。 ・入居者の好みをメニューに取り入れている。 ・利用者の「できる力」に合わせて調理、準備や片づけをしている。 ・誕生日に利用者のリクエストメニューを提供。		Ⓐ. 充分にできている 3 B. ほぼできている 2 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・金さん銀さんだよりや施設訪問等でも楽しそうな様子が伝わってきます。 ・毎月の行事も盛りだくさんで楽しみ。 ・毎月のお便りの写真からも食事や調理を大切にしていることがわかる。 ・食事の支援については、一般家庭では、なかなかできない事をされています。一般家庭で考えれば、充分できていると思われまます。 ・実態説明により判断した。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者の状態、体調に応じた食事量や形態で提供している。 ・水分確保が困難な方には食事で水分摂取できるよう工夫している。 (好みのものによっては、医師や薬剤師と連携して対応)			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・年1回、口腔内のアセスメントを実施している。状態によっては医療に繋げていく予定。 ・毎晩、口腔洗浄剤で清潔保持をしている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・口腔内清潔保持については家庭ではなかなかできない事を事業所では毎晩清潔保持を行っているゆえ充分にできていると思われる。 ・実態説明により判断した。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・排泄の自立支援をアセスメントし、布パンツで継続できるように支援している。 ・ケア記録や排泄サイン(体動)を職員間で共有して排尿排泄の誘導をしている。 ・便秘予防や排便調整はオリゴ糖を試行したり、医師や薬剤師と相談をしている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・排泄の自立支援と言うことで、その都度努力をされている。排尿・排便の誘導ということで、たまには失敗もあるかと思いますが、ほぼできていると思われる。 ・実態説明により判断した。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・曜日や時間帯は一応決まっているが、希望や体調で臨機応変に対応している。 ・季節風呂の提供(ゆず湯や入浴剤の工夫) ・入浴ができない利用者には、足浴・清拭など気分転換や清潔維持を行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居時に使い慣れた寝具を持参いただく。 ・昼寝や就寝時本人の希望でベッドに以外のソファなどの安眠できる場所を提供。 ・睡眠状態の計測用の眠りSCAN(介護ロボット)を全員に提供。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ケア記録に服薬情報を入力し、副作用などを確認出来るようにしている。 ・内服変更の際は、ケア記録や薬箱に「〇日から変更」と記載している。 ・服薬後の状態を主治医に報告し、薬剤師とも連携している。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・十分注意しておられるようですが、事故報告で誤嚥等の報告がみられる。 ・服薬支援に対しては、薬の目的・作用・用法・用量を理解され、副作用の有無も記録されており、主治医とも連携されていて、充分にできていると思われる。 ・実態説明により判断した。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・生活歴等を把握し、役割を提供するよう支援。 ・利用者の希望などで散歩やレクを企画。 ・ボランティアの訪問を再開し、楽しんでいる。	コロナ禍で外出が制限される中、金さん銀さん内でおやつや昼食などの調理を行う機会が増えている状況を紹介		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者の希望に応じて、近所への散歩やドライブに行っている。 ・家族との外出支援も再開している。 ・気分転換などに玄関先で外気浴やおやつとお茶を楽しんでいる。	コロナの5類移行で、家族との外出など支援していきたい		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・事業所の買い物時、利用者にレジでの支払い手続きをお願いしている。 ・利用者の小遣いとして少額預かっているが、利用者自身が使うことはない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族への電話は、取り次いで話す。 ・年末に家族や友人などへ年賀状を出す。 ・本人の携帯電話で家族と交流している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・各居室に利用者の表札をかけている。 ・トイレの表示を見やすくしている。 ・食卓テーブルの前で調理をしており、音や匂いから生活感を感じていただいている。 ・玄関・食卓には季節に応じた飾りつけをしている。 ・施設内に好みの曲やラジオを流している。		A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・施設内に民謡や童謡が流れていて、ゲームをしたりとても楽しい様子が伝わってきます。 ・居心地のよい空間とは一人一人異なることがあり、やや難しい課題ですが全体的にはほぼできていると思われ ます。 ・施設に入れてもらう機会に実状を確認した。
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人の思いなどの情報を収集し、ケアに活かしている。 ・利用者との会話からの「やりたいこと」を取り入れ、行事活動として実践している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居時に生活歴や今までの暮らし方の情報を収集し、日々のケアに生かしている。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日々の状態をケア記録に残し、家族や医療機関に情報提供し、共有をしている。また、ケアプランにも反映させている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個人の状況に応じた支援を受けることができることは個人の改善にもつながり、ほぼできていると思われます。 ・実態説明により判断した。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居当初は、本人のペースに合わせて対応し、事業所での生活にやや慣れた時期を見て、本人や家族の意向をもとに暮らしのペースを作っている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・危険物などは制限しているが、特別な制限はしていない。自分の趣味や昔の写真、家族写真、金さん銀さんでの作品などを居室に掲示している。		⑤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・生活の継続性で個人の趣味の品物を自室に持つことができるのは、生活に張りがでて来ると思われ、全体としてほぼできていると思われる。 ・施設に入れてもらう機会に実状を確認した。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・事業所の敷地内は、自由に戸外に出かけることができる。 ・散歩に出かける時は、常に職員が付き添っている。	コロナの感染症分類が5類へ移行したことで、家族との居室面会や外出などを支援していく。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・生活歴や趣味、今できることが継続できるようにし、1つの役割ができなくなっても、違う役割を探したり、別の楽しみを見つけれられるように、役割のある生活を支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者から「ここにいたら楽しいわ」「今もう少しここにしようか?」という会話がある。 ・利用者に日々役割提供をしている。 ・利用者自ら、他の利用者とレクリエーション活動を行っている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・いきいきと過ごす場は大切なことで、個人を尊重しつつ活動できる事は、ほぼできていると思われます。 ・実態説明及び施設に入れてもらった機会に実状を確認した。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・敷地内を散歩中、通る方や小学生に声をかけたり手を振っている。	・小学生への声かけは施設の窓や外に散歩に行ったりしたときにおこなっている。		

49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・私の気持ちシートなどから思いを汲み取り支援している。また、面会時に家族から意見を聞き、事業所での介護計画に反映している。 ・利用者の会話から安心した生活が出来ていることを職員は、感じている。</p>	<p>(気持ちシートを提示して説明をする) ・シートの更新は本人様の状態が変わった時や介護認定更新の時におこなう。</p>	<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・スローガンの日々笑顔で過ごせる金さん銀さんの通り、入居者様が楽しく過ごしている様子が金さん銀さんだよりを見て感じています。でも、あえてもっと高みを目指しておられる職員さんの意気込みで評価が B となっているのだと思います。 ・本人が職員や地域の人と親しみ安心して暮らせる環境であることが伺え、充分にできていると思われれます。 ・実態説明により判断した。</p>
----	----	---	--	--	--	--	--